



世界物理年記念シンポジウム

開催のご案内

万人のため

め

の科学



アインシュタインの業績(1905年)を記念して設定された「世界物理年」については、わが国においては、物理学のみならず天文、生物物理、電気・電子、機械などの学会をはじめ、関係するさまざまな研究機関、民間企業、事業者団体などのご協力・ご尽力により、数多くの事業を実施してまいりました。科学技術に対する関心の低下が懸念されている中で、これらの活動により、科学者、技術者の側から社会に対して積極的に働きかけることの意義が理解されてきたものと評価しております。

さて、わが国が「科学技術創造立国」をめざしていくためには、この「世界物理年」を一年の活動をもって終結させるのではなく、次の活動に継続していくことが必要であると思います。

そこで、世界物理年日本委員会では、「世界物理年記念シンポジウム」の開催を計画いたしました。日本委員会が、昨年、活動の開始に際して発表した「企画書」では、科学と技術について社会一般の人びと

が持っている理解度を高めていく活動、次代の科学と技術を担う若い人た

ちに対する活動、そして科学者と技術者のモラルを再確認する活動を掲げています。今回のシンポジウムでは、この三

つのテーマに即して、さまざまな分野の方々にご参加をいただきご意見をいただくことで、今後の活動に向けての出発点にしてまいりたいと考えております。

社会の中の
科学と技術

会場：一橋記念講堂

(東京都千代田区一ツ橋2-1-2(学術総合センター))

2006年4月8日(土)

■ 10:00~17:00 ■

- 参加者：一般の方々、学会関係、研究者など500名(入場無料)
- 主催：世界物理年日本委員会
- 共催：宇宙航空研究開発機構、科学技術振興機構、日本原子力研究開発機構、理化学研究所、国立科学博物館、日本物理学会、応用物理学会、日本物理教育学会、日本生物物理学会、日本科学技術振興財団
- 後援：文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、NHK、日本天文学会、電気学会、日本機械学会、電子情報通信学会、日本工学会(申請中のものを含みます)
- 事務局：しゅくみねっと(株)
高橋、雑賀 電話:03-5468-0770

次の世代を
育てる
理科教育

参加を希望される方は、会場整理のため裏面より事前の登録をお願いいたします